



2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月11日

上場会社名 I-PEX株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6640 URL <https://www.corp.i-pex.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 土山 隆治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務統括部長 (氏名) 嶋崎 岳志 TEL 075-611-7155
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	14,783	△8.0	1,190	△36.0	1,519	△35.7	588	△65.0
2021年12月期第1四半期	16,066	26.3	1,861	539.1	2,364	292.2	1,681	271.3

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 2,229百万円 (△23.0%) 2021年12月期第1四半期 2,897百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	31.79	-
2021年12月期第1四半期	89.80	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	92,804	58,306	62.7
2021年12月期	91,690	56,775	61.8

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 58,216百万円 2021年12月期 56,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	-	15.00	-	35.00	50.00
2022年12月期	-	-	-	-	-
2022年12月期（予想）	-	20.00	-	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	29,900	△8.8	1,800	△50.4	1,750	△57.4	1,250	△57.7	67.48
通期	61,200	△8.5	4,100	△40.4	4,000	△48.1	2,700	△54.4	145.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期1Q	18,722,800株	2021年12月期	18,722,800株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	199,866株	2021年12月期	199,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期1Q	18,522,934株	2021年12月期1Q	18,722,415株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

なお、業績予想の前提条件等につきましては、[添付資料] P 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(会計方針の変更)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、世界経済は、新型コロナウイルスの変異型であるオミクロン型の感染拡大や、原材料高および供給制約等によるコスト増により、減速感が強まりました。直近では、ウクライナ危機を背景とした世界的な株安や、資源価格の高騰によるインフレの長期化が懸念される等、先行き不透明な状況が続く見込みです。

わが国でもオミクロン型の感染急拡大による外出行動の抑制等から、経済の回復ペースは鈍化しました。為替市場における主要通貨の動きは、前年同期と比較して米ドル、ユーロ、中国元といった主要通貨が軒並み円安で推移しました。

このような経済状況の中、当社の事業毎の環境は前年と様変わりし、結果として電気・電子部品事業、自動車部品事業が減少し、設備事業が伸長しました。

電気・電子部品事業は、デジタル化の進展に伴い、コネクタ等の電子部品需要は底堅く推移しましたが、一部、顧客側で半導体をはじめとする部材調達が滞ったことや巣ごもり需要の反動減等が影響し、受注が伸び悩みました。製品別では、リモートワークの拡大等に伴う需要構造の変化により、パソコン需要が底堅く推移したことを受けて、細線同軸コネクタや基板対基板コネクタは比較的順調に推移しました。HDD関連部品は、データセンター向けの大容量HDDの部品需要が引き続き好調であったことから伸長しました。

自動車部品事業は、自動車需要は引き続き堅調に推移しているものの、新型コロナウイルスの感染症再拡大や半導体をはじめとする部材不足等に伴うサプライチェーンの混乱により、自動車メーカーの生産活動が停滞していることを受けて、不安定な状態が継続しました。

設備事業は、半導体メーカーが高まる需要に対して供給が追いつかず、生産能力の増強を継続していることを受けて、半導体樹脂封止装置や金型の売上高は順調に推移しました。また、薄型半導体の製造に使用する樹脂漏れ防止用の自動テープ張付機も好調を維持しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,783百万円（前年同四半期比8.0%減）、営業利益1,190百万円（前年同四半期比△36.0%減）、経常利益1,519百万円（前年同四半期比35.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益588百万円（前年同四半期比65.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,114百万円増加し、92,804百万円となりました。主な増加要因は、機械装置及び運搬具814百万円、仕掛品372百万円等であります。

負債につきましては、417百万円減少の34,497百万円となり、主な減少要因は、支払手形及び買掛金573百万円等であります。

純資産につきましては、為替レート変動の影響による為替換算調整勘定の増加1,651百万円等により1,531百万円増加し、58,306百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月9日に公表しました2022年12月期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,820	14,003
受取手形及び売掛金	14,910	14,237
製品	4,034	4,177
仕掛品	4,738	5,110
原材料及び貯蔵品	2,283	2,384
その他	1,353	1,787
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	41,139	41,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,766	25,389
減価償却累計額	△10,598	△11,108
建物及び構築物(純額)	14,168	14,281
機械装置及び運搬具	48,461	50,443
減価償却累計額	△31,803	△32,972
機械装置及び運搬具(純額)	16,657	17,471
工具、器具及び備品	24,554	25,311
減価償却累計額	△22,159	△22,925
工具、器具及び備品(純額)	2,394	2,385
土地	5,840	5,941
建設仮勘定	7,962	7,564
有形固定資産合計	47,023	47,644
無形固定資産		
その他	575	784
無形固定資産合計	575	784
投資その他の資産		
繰延税金資産	15	31
退職給付に係る資産	705	694
その他	2,251	1,971
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	2,951	2,676
固定資産合計	50,550	51,105
資産合計	91,690	92,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,990	2,417
短期借入金	9,924	9,589
未払法人税等	652	472
賞与引当金	852	1,389
その他	6,209	5,213
流動負債合計	20,629	19,082
固定負債		
長期借入金	6,811	7,088
繰延税金負債	1,320	1,489
退職給付に係る負債	151	162
その他	6,001	6,675
固定負債合計	14,284	15,415
負債合計	34,914	34,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,968	10,968
資本剰余金	10,513	10,513
利益剰余金	33,287	33,177
自己株式	△422	△422
株主資本合計	54,347	54,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	5
為替換算調整勘定	1,422	3,073
退職給付に係る調整累計額	921	899
その他の包括利益累計額合計	2,349	3,978
非支配株主持分	77	90
純資産合計	56,775	58,306
負債純資産合計	91,690	92,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	16,066	14,783
売上原価	10,297	9,556
売上総利益	5,769	5,226
販売費及び一般管理費	3,907	4,036
営業利益	1,861	1,190
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	3
為替差益	513	359
助成金収入	44	6
その他	7	26
営業外収益合計	570	396
営業外費用		
支払利息	53	55
その他	13	11
営業外費用合計	67	66
経常利益	2,364	1,519
特別損失		
投資有価証券売却損	—	469
特別損失合計	—	469
税金等調整前四半期純利益	2,364	1,049
法人税、住民税及び事業税	482	313
法人税等調整額	197	135
法人税等合計	680	449
四半期純利益	1,684	600
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,681	588

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	1,684	600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△0
為替換算調整勘定	1,190	1,651
退職給付に係る調整額	17	△21
その他の包括利益合計	1,212	1,629
四半期包括利益	2,897	2,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,892	2,217
非支配株主に係る四半期包括利益	4	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内の販売において、出荷時から製品の支配が顧客に移転される時までの時間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりであります。

- ・顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引においては、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識しておりましたが、原材料等の仕入価格を除いた対価の純額で収益を認識することに変更しております。
- ・設備事業の自動機の販売に関して、従来は当社の工場内での顧客立会いによる性能確認後に収益を認識しておりましたが、顧客指定工場に搬入据付終了の時点で収益を認識することに変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,014百万円減少し、売上原価は940百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ74百万円減少しております。

また、利益剰余金の当期首残高は、50百万円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,791	5,542	732	16,066	—	16,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	31	—	42	△42	—
計	9,802	5,573	732	16,108	△42	16,066
セグメント利益又は損 失(△)	2,142	533	△3	2,672	△811	1,861

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△811百万円は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△818百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,213	4,362	1,207	14,783	—	14,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	59	—	80	△80	—
計	9,235	4,421	1,207	14,864	△80	14,783
セグメント利益	1,748	262	159	2,170	△980	1,190

(注) 1. セグメント利益の調整額△980百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△981百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。